

## I. 地区の概要

本地区は、稲作と果樹(柿)を中心とした自然豊かな農村地域にあり、古くは越前瓦の産地としても有名で、歴史的文化的な地域である。なお、近くには北陸自動車道、ゴルフ場のほか、金津創作の森やトリムパークかなづ等の公共施設が整備されている。

ほ場整備後30年以上が経過し、区画が狭小で排水が悪く、担い手等への集積が進まず営農に苦慮していたことから、営農の低コスト化等を図るため、県営土地改良事業による区画拡大・給排水施設改良に取り組むとともに、営農組織と集落が一丸となり地域コミュニティの形成と農業用施設の保全・農村環境保全に取り組んでいる。

◇活動内容	農地維持 資源向上 (共同) 資源共同 (長寿命化)	◇取組面積	田	14.57	ha
			畑	23.72	ha
			草地	5.52	ha
◇集落数	2 集落	◇組織の構成員	農業者	47	人
			農業者以外	12	人
			団体	7	団体
			自治会、農家組合、老人会等		

## II. 主な取り組み

### 【農地維持】

◆将来の地域農業のあり方を考える「農業懇話会」を設け、農業用施設の維持保全・農村環境保全体制を再編し、基盤整備については、県営土地改良事業により、ほ場整備を実施している(H30着工)。

◆畦畔等の草刈りについては、営農法人と柿原郷の会が作業分担により実施しており、参加者の負担軽減を図るため、営農法人所有のトラクターに草刈り機のアタッチメントを装着した草刈りや、自走式の草刈り機等を活用するなど作業の機械化を進めている。

### 【資源向上 (共同)】

◆自治会の女性を中心となり、地域内の景観形成のために水路法面等へのシバザクラの植栽を実施しており、活躍している。

◆自然流下により農業用水を供給している地域において、水路内に不法投棄された廃棄物の回収や不法投棄防止のための看板や柵の設置を実施している。

◆鳥獣害被害防止として、山際の枝払い作業を実施している。

更に平成31年度からは、農用地側・山林側双方からの対策実施による獣害被害の防止と里地里山の保全への取り組みの展開を計画している。

◆活動組織が広域化されたこともあり、地域全体での取り組みとするため、細呂木地区鳥獣害対策協議会を平成31年度に設置することを計画している。



### 【資源向上 (長寿命化)】

◆ほ場整備事業で、区画拡大、暗渠排水、水路の更新整備を実施し、多面的機能支払交付金ではほ場整備区域外の農道舗装に取り組んでいる。現在、区民の60～69歳の男性は24名、40～59歳は24名であり、10年後の構成員の高齢化を見据え、保管理作業の機械化に対応できるよう、老朽化した農道の舗装を進めている。

